

海外展開で活躍を、東京で留学生向け就職説明会



就職説明会に参加する留学生＝8日、東京

人材紹介会社フォースバレー・コンシェルジュ（東京都千代田区）は7～8日、日本に留学する、アジアを中心とした学生向けの就職説明会を東京で開催した。参加した企業の担当者からは、外国人を採用することで「発想の多様性」や「母国語を生かした海外展開での活躍」を期待しているとの声が聞かれた。

2008年から留学生向けの説明会を毎年開催しているが、東京での開催日を2日に増やしたのは初めて。

出展企業は68社で、1日だった前年の47社から大幅に増えた。2日間で来場した留学生は1,700人。

毎年出展している三菱電機は、説明会をきっかけに自社開催の就職セミナーに学生を呼び込みたいと説明。NTTデータの担当者は、中国、韓国、台湾からの留学生を中心に20人程度を毎年採用していると話した。

中国の吉林省出身の大学3年生の男子学生は、商社の仕事に関心があるといい、「転勤が多いと聞いており、やりがいがありそう」と語った。天津市出身の大学院1回生の女子学生は、メーカーやIT企業への就職を希望していると話し、「できるだけ長く日本で働きたい」という。

フォースバレーの柴崎洋平社長は「グローバル人材」の需要は高まっていると述べる一方、日本企業の海外展開では、管理職が本社から派遣されることは変わっていないと指摘。日本で採用され、日本流のビジネスを身に付けた留学生が、将来的に海外事業の中核を担うことを期待されているのではないかと、との見解を示した。

華北・東北

記事問い合わせ【北京事務所】Tel:86-10-6510-1060 E-mail:yuji.yasuda@nna.asia

【北京 - 商業】

ヨーカドー北京右安門店、今月31日閉店

イトーヨーカ堂が運営する北京市の総合スーパー「イトーヨーカドー華堂商場右安門店」（西城区）が3月31日に営業を終了する。昨年4月以降、同市内で閉店するのは望京店（朝陽区）、北苑店（同）、西直門店（西城区）に続いて4店舗目。今後は残る5店舗に経営資源を集中する。

右安門店は2007年9月開業。地下鉄4号線北京南駅近くに立地し、売り場面積約1万1,300平方メートルで、生鮮食料品や衣類、日用雑貨などを販売してきた。

セブン&アイ・ホールディングス広報センターによると、北京では近年、消費が落ち込んでいるといい、昨年4月に望京店、同8月に北苑店、同11月に西直門店を閉鎖して事業の整理と集中を敢行。右安門店の閉店はその一環となる。

北京市内のイトーヨーカドー華堂商場は4月以降、5店舗となる。同社広報センターは「閉店は右安門店までで一区切りし、残る店舗に経営資源を集中させる」としている。

【北京 - 観光】

農村ホテルを共同運営、首旅酒店と山里寒舎

上海上場で旅行業大手の北京首旅酒店（集団）（北京市西城区、首旅酒店）はこのほど、山里寒舎（北京）旅遊投資管理（北京市密雲県、山里寒舎）とホテル運営の合併会社を設立すると発表した。山里寒舎がチェーン展開する「山里寒舎」「山里逸居」ブランドのホテル管理を全面的に受託する。

「山里寒舎」と「山里逸居」は、都市生活者の間で高まっている農村レジャーやスローライフへの需要をターゲットに、郊外の古民家を改造してサービスを提供す

る高級ホテル。2月中旬時点で北京市密雲県に2店、江蘇省蘇州市に1店を展開し、年内に北京市9店、蘇州市1店の計10店に増やす計画で、2016年と17年もそれぞれ10店ずつの増設を予定している。

首旅酒店と山里寒舎は共同で1,000万元（約1億9,300万円）を出資し、合併会社の北京首旅寒舎酒店管理を設立。山里寒舎が投資、建設する全ての「山里寒舎」と「山里逸居」を受託管理する。合併会社の出資比率は首旅酒店が51%、山里寒舎が49%となる。